

平成 26 年 4 月 2 日

<各位>

ナノキャリア株式会社
 代表取締役社長 中富 一郎
 (4571 東証マザーズ)
 問い合わせ先
 取締役 CFO 兼 社長室長 中塚 琢磨
 電話番号 03 - 3548 - 0217

平成27年3月期業績予想についてのお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、平成 27 年 3 月期の通期予算を決定いたしましたので、これに基づく業績予想を下記のとおりお知らせします。

1. 平成 27 年 3 月期通期業績予想 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
通期	330	△1,955	△1,929	△1,970	円 銭 △53.85
(ご参考) 平成 26 年 3 月期 業績予想	471	△1,126	△1,104	△1,122	円 銭 △30.67

(注) 当社は、平成 26 年 2 月 12 日に公表いたしました「株式分割、単元株制度の採用及び定款の一部変更に関するお知らせ」のとおり、平成 26 年 4 月 1 日を効力発生日として普通株式 1 株につき 100 株の割合をもって分割を行っております。そのため、前事業年度 (平成 26 年 3 月期) の業績予想における 1 株当たり当期純利益につきましては、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

売上高につきましては、平成 26 年 3 月期と同様に、既に締結済の契約に基づく治験用製剤供給収入、化粧品材料供給収入、その他の契約収入を主な売上として予想しており、今後の事業開発活動の結果として発生する収入につきましては含めておりません。

研究開発につきましては、平成 26 年 3 月期に実施したグローバルファイナンスによる資金調達を踏まえ、自社開発を推進しております NC-6004 (ナノプラチン®) の国内 Phase I 試験、米国 Phase Ib/II 試験及び NC-4016 (ダハプラチン誘導体ミセル) の米国 Phase I 試験を含めた日米、アジア地域における開発の促進・加速化を図る予定です。また、次世代医薬品候補として研究開発を推進している ADCM (Antibody/Drug-Conjugated Micelle) や核酸医薬品については、現在国内外の企業とのフィージビリティスタディを開始しており、早期に研究成果をまとめ、共同開発を含め提携等の実現に向けステージアップを目指します。また、研究および開発を早期に確実に推進するため、優秀な人材の確保に努めており人員及び組織の強化も計画しております。以上に加え、研究開発部門の連携及び経営体制・組織の強化を図るため、研究所機能を拡張するとともに、東京オフィスの開発及び管理部門と本社研究部門の機能統合を進めるべく、本年 6 月には千葉県柏市内への移転を予定しております。これらの施策を重層的に進めることにより、研究開発を加速化し、グローバルな展開を押し進めます。平成 27 年 3 月期は、上記研究開発推進等により研究開発費を 1,599 百万円と見込んでおり、営業損失、経常損失、当期純損失はそれぞれ 1,955 百万円、1,929 百万円、1,970 百万円と、平成 26 年 3 月期よりも拡大することを見込んでおります。

(注) 業績予想については、現時点での入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき当社で判断したものであり、業績予想には不確定要素が内在しているため、今後の様々な要因により、予算に基づく上記業績予想数値が変更される場合があります。

以上